



仙崎港での水揚げ 広田友和さん

海とともに生きる

漁業は今！

わが国は四方を海で囲まれており、このため古くから魚介類を重要なたんぱく源として利用してきました。

それに伴い、各都市の産業基盤も漁業と大きく関わって発展しました。

本市においても日本海に面し、通・仙崎・湊地区を中心に、古くから漁業の町として栄えてきました。

しかしながら一方で漁業をとりまく状況は、200海里体制による操業規制の強化、資源の減少、後継者不足など様々な問題に直面しています。

「水産と観光のまち」をキャッチフレーズに、市政を進めている本市において漁業問題は重要な課題です。

漁業従事者の声をもとに、「漁業の今」を考えてみます。

今月は漁業の特集です。